

## インターバンクの声（2015年2月18日）

16日にブリュッセルで開かれた臨時のユーロ圏財務相会合では結局ギリシャが支援プログラムの延長申請を求めることはなく物別れに終わっていたが、ユーロ圏側の関係者によれば、ギリシャは18日に支援要請することを検討しているらしい。昨日の欧州市場は、朝からユーロ圏とギリシャとの交渉の行方に対する楽観的な見方が広がり始めていたことに加え、ドイツのZEW景況指数が1年ぶりの高水準になったこともあって、ニューヨーク市場の午前中にはユーロが1.14ドル台の中盤まで上昇した。本来、ギリシャの具体的な支援要請の日程などの噂が流れてくれば、もう一段のユーロ高になってもおかしくないはずだが、同時にギリシャの市中銀行からの預金流出が加速している情報も聞こえて来ていたので、やはり更なるユーロ買いに慎重になる人たちも多くなってしまったのだろう。どうも為替市場がレンジ相場に入り込んでしまっていると感じている人も多い雰囲気だが、午後の黒田日銀総裁の会見とギリシャの決断があればアツと言う間の目新しいレンジへの移行も有るだろう。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。